

会員訪問

税理士法人アンビシャス・パートナーズ

代表社員税理士 森下 浩会員（札幌東支部）

「北海道農業の発展に貢献」し、 専門性の高いサービスを提供したい

農業専門の税理士をめざしたきっかけ

高校時代から生物が好きで北大農学部へ進学。農業を学び、農業の役に立つ仕事を志していた。税理士になる前は金融機関に勤めており、農家の方への融資を担当。実際に農家を回って多くの方と話すことにより、農家の方々の「税務や経営に関して、相談のできる相手がいない」ということに心を痛め、自らその問題を解決したいという思いから、農業専門の税理士への道を歩み始めたという。

農業研究の場から経営相談業務へ

農業の税務に関して専門特化しているからこそ、農業の税務や経営に関する知識や情報が集約され、だからこそ質の高いサービスの提供が可能なのである。

決算や確定申告業務のほか、経営数値を分析し、

経営改善の提案、納税予測、節税対策、法人化シミュレーションなどをレポートとして提供しているとのこと。これらの専門的なサービスを行うことができるので、課題の多い農業者の未来を創り出していくことが必要なのだと。

お客様である農家の方々の悩みの多くは、まず、書類の整理や会計ソフトの導入、入力などにある。それらの経理処理などを女性スタッフが丁寧にサポートしながら、時間をかけて軌道に乗せることで、経営者から多くの信頼を得ているのである。

最近では、農業の法人化の相談が増加傾向にあり、ここ3年間だけでも20件の相談が寄せられ、12件の法人化の支援を実現。法人化後は毎月の訪問、経営管理や農産物の販売先などを紹介、資金調達支援などきめ細やかな対応を心掛けている。

森下会員は、北海道6次産業化サポートセンター企画推進員としても活躍しているため、6次産業化への相談も得意としているとのこと。将来



的には、職員全員が6次産業化に携わり、地域に貢献していきたいという。

税理士法人アンビシャス・パートナーズの特徴

アンビシャス・パートナーズの特徴として、結婚や出産で家庭に入ってしまう優秀な人材に対し、仕事復帰を果たせるよう在宅勤務や子連れ出勤制度がある。

森下会員にも子供がいるため、前々から子育てと仕事を両立しやすい環境を作りたいと思っていたとのことで、事務所にはキッズルームがあり、時にはキッズルームに親子で入って仕事をすることもあるそうだ。

また、「遠隔地の農業者」と「在宅の女性従業員」をうまく組み合わせた、インターネット農業会計サービスの提供も行っており、遠隔地のお客様へも電話やメール、FAXなどを利用し、満足度の高い相談業務を行っており、お互いに多くのメリットを生み出している。

ただし、インターネットが普及しているからといっても、定期的に訪問しており、遠隔地のお客様には、キャンピングカーを移動事務所として活用し、年に一度は訪問している。また、キャンピングカーは福利厚生としても使用し、お客様の牧場の牛舎での搾乳体験や、食育イベントなどに家族で参加してもらい、農業の楽しさや食の大切さなどを学ぶとともに、農業の現地視察も兼ねて勉強しているという。今では、職員が農業機械にも詳しくなり、新しい農業機械が出ると話題になるそうだ。

在宅勤務となると気になるのが進捗管理であるが、毎日、業務予定や日報を報告してもらい、それを確認することで管理。毎月、事務所で月初ミーティングを行い、時間のかかるお客様がいれば、全員でフォローしているとのことである。

「第3回会計事務所甲子園」での優勝

「会計事務所甲子園」とは、夢や誇りを持った会

計人が「共に学び、共に成長し、共に日本を元気にする」というビジョンの基に、各々の取り組みを発表する場とのこと。

森下会員としては、われわれの取り組みのいいところやできていないところ、職員ひとりひとりの仕事に対する想いを再確認するいい機会だと考えてエントリーしたという。

1次審査、2次審査、地方大会を経て決勝大会へ。決勝進出決定から2カ月余りでの台本執筆から発表練習という厳しいスケジュールであったが、「従業員満足から顧客満足が生まれる」をモットーに、目の前の問題に真摯に取り組む姿勢が評価され、日本一に選ばれた。

森下会員「弊社が日本一になれたのはお客様はじめ、支えてくださる関係者みなさまのおかげです。日本一の事務所の名に恥じない仕事ができるよう職員一同気持ちを新たに邁進する所存です！」。

将来の展望

世の中にはまだまだ困っている農家さんがたくさんいらっしゃるので、お客様を増やしていき、一代で北海道全域までエリアを拡大して、その後は、クラウド会計が進歩しているので、在宅勤務などのスキームと組み合わせることで、全国にも進出していきたいと思っているとのこと。

「子供たちに安心・安全なものを食べさせたい」という思いがある。そのような「安心・安全」なものを作っている生産者、農業者を支えることがわれわれの仕事であり、「この仕事を誇りに思う」と言ってくれている皆とともに、北海道農業の発展に貢献したいと語った。

編集後記

新しいことに次々にチャレンジしていく森下会員の熱い思いに触れ、取材とはいえ大変勉強になりました。「農業」に特化した税理士としての強みは計り知れませんね。

(札幌東支部 李 香純)